

# 經濟論叢

第141卷 第6号

平井俊彦教授記念號

---

献 辞 .....	尾 崎 芳 治	
世論の觀念について .....	阪 上 孝	1
J. S. Mill が社会科学研究的の 始源においたもの .....	山 辺 知 紀	19
資本制商品の物神性の根拠について .....	梅 沢 直 樹	43
レーニンの市場理論について .....	太 田 仁 樹	62
ジョン・ミラーとフランス革命 .....	田 中 秀 夫	81
社会主義者の社会ダーウィニ主義観 .....	保 住 敏 彦	100
ニューディールと民衆・序論 .....	小 林 清 一	119
フランス・プロテスタント封じ込め政策 (1610-1661) .....	木 崎 喜代治	138

平井俊彦 教授 略歴・著作目録

---

昭和63年6月

京 都 大 学 經 濟 學 會

## 平井俊彦 教授 略歴

- 1925 (大正14年) 年6月16日 神戸市長田区长田町2丁目17番地で佐太郎・よしの長男として生まれる
- 1938 (昭和13) 年3月 神戸市長田尋常小学校卒業  
4月 兵庫県立神戸第二中学校入学
- 1943 (昭和18) 年3月 同校卒業  
4月 甲南高等学校文科甲類入学
- 1945 (昭和20) 年3月 同校卒業  
4月 京都帝国大学経済学部入学
- 1948 (昭和23) 年3月 同大学卒業  
4月 京都大学大学院入学 (経済哲学専攻, 出口勇藏教授の指導を受ける)
- 1951 (昭和26) 年6月 同大学院退学  
7月 京都大学経済学部講師
- 1954 (昭和29) 年4月 甲南大学経済学部非常勤講師 (社会思想史, 1971年度まで)
- 1956 (昭和31) 年4月 京都大学教養部非常勤講師 (経済学)
- 1957 (昭和32) 年11月 京都大学経済学部助教授
- 1960 (昭和35) 年4月 池坊短期大学非常勤講師 (経済学)  
7月 上野文庫解題日録編集委員
- 1962 (昭和37) 年8月 日独文化研究所評議員 (1989年3月まで)  
12月 名古屋大学経済学部非常勤講師 (経済哲学)
- 1963 (昭和38) 年12月 京都大学経済学博士の学位を受ける (経, 第6号), 学位論文「ロックにおける人間と社会」
- 1966 (昭和41) 年4月 同志社大学経済学部非常勤講師 (社会思想史, 1971年度まで)  
9月 愛媛大学文理学部非常勤講師 (経済学史)  
11月 経済学史学会幹事 (現在まで)
- 1968 (昭和43) 年7月 京都大学経済学部教授 (社会思想史講座担任)
- 1969 (昭和44) 年8月 学生厚生施設整備委員会委員 (1970年8月まで)
- 1972 (昭和47) 年3月 ドイツ連邦共和国, イギリス, フランス, ハンガリー, オーストリア等で約1年間海外研修 (主としてフランク

- フルト, ゲーテ大学で研修)
- 1973 (昭和48) 年 4 月 甲南大学経済学部非常勤講師 (社会思想史, 1974年度まで)
- 11月 島根大学文理学部非常勤講師 (経済学史)
- 1974 (昭和49) 年 1 月 学生部委員会委員 (同年7月まで)
- 4 月 同志社大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 7 月 京都大学評議員
- 1975 (昭和50) 年 1 月 京都大学経済学部長 (1976年1月まで)
- 1976 (昭和51) 年 1 月 京都大学評議員 (同年7月まで)
- 2 月 九州大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 10月 社会思想史学会創立とともに常任幹事(1989年3月まで)
- 12月 京都教育大学非常勤講師 (経済学史)
- 1977 (昭和52) 年 2 月 大学院審議会制規等専門委員会委員 (同年10月まで)
- 11月 京都大学評議員
- 1978 (昭和53) 年 1 月 京都大学経済学部長 大学院経済学研究科長併任(1979年1月まで)
- 1 月 日本学術会議会員 (第11期)
- 1 月 上野文庫目録 (第2期) 編集主任
- 4 月 京都大学情報処理教育センター評議員(1984年3月まで)
- 1979 (昭和54) 年 2 月 大学院審議会制規等専門委員会委員 (1981年2月まで)
- 4 月 甲南大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 4 月 九州大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 九州大学大学院経済学研究科非常勤講師
- 1980 (昭和55) 年10月 大学基準協会 大学自己評価研究委員会委員 (1989年3月まで)
- 1981 (昭和56) 年 1 月 日本学術会議会員 (第12期)
- 4 月 立命館大学大学院文学研究科非常勤講師 (経済哲学)
- 6 月 京都大学図書館商議会議議員 (1985年5月まで)
- 1982 (昭和57) 年 4 月 甲南大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 4 月 同志社大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 7 月 松山商科大学非常勤講師 (現代思想史)
- 1983 (昭和58) 年 4 月 九州大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 九州大学大学院経済学研究科非常勤講師
- 6 月 名古屋大学大学院経済学研究科非常勤講師
- 7 月 松山商科大学非常勤講師 (現代思想史)

- 1984 (昭和59) 年 6月 ドイツ連邦共和国, イギリス, フランスへ1ヶ月間, 海外研修
- 1985 (昭和60) 年 4月 神戸市立外国語大学非常勤講師 (社会思想史)
- 11月 経済学古典文献展示会主任
- 12月 金沢大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 1986 (昭和61) 年 4月 社会思想史学会代表幹事 (1989年3月まで)
- 4月 福山大学経済学部非常勤講師 (現代思想史)
- 7月 愛知大学大学院研究科非常勤講師 (経済学特殊講義)
- 8月 日本学術会議からの派遣研究員として, 第14回ヒューム国際会議 (スコットランド, エジンバラ大学) へ11日間出張
- 10月 九州大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 1987 (昭和62) 年 2月 九州大学大学院経済学研究科非常勤講師
- 4月 学生部学生懇話室委員 (1988年3月まで)
- 4月 福山大学経済学部非常勤講師 (現代思想史)
- 7月 愛知大学法経学部非常勤講師 (社会思想史)
- 1988 (昭和63) 年 7月 金沢大学経済学部非常勤講師 (社会思想史)
- 11月 上野文庫展示会 (ジャーナリズムの源流) 主任

## 平井俊彦 教授 著作目録

## 著書・編著書

ロックにおける人間と社会 (学位論文)	ミネルヴァ書房	1964年2月
〃 増補版	ミネルヴァ書房	1967年10月
社会思想史 I 近代 (徳永恂との共編著)	有斐閣	1978年11月
社会思想史 II 現代 (同上)	有斐閣	1979年9月

## 著書分担執筆

プロレタリアートの成立 (豊崎稔編『資本主義発展の研究』6章)	春秋社	1952年3月
イギリス社会主義 (出口勇蔵編『経済学史』6章2・5節)	ミネルヴァ書房	1955年1月
ウェーバーの民主主義 (出口勇蔵編『経済学全集』6巻「歴史学派の批判的展開」8章)	河出書房	1956年1月
シェリングとの決裂と精神現象学 (出口勇蔵編『経済学と弁証法』4章3・4節)	ミネルヴァ書房	1956年5月
欲望の体系 (河野健二編『思想の歴史』9巻「マルクスと社会主義者」1章)	平凡社	1965年12月
ルカーチと現代 (出口勇蔵著『社会思想史』11章)	筑摩書房	1967年6月
ロックの哲学思想 (田中浩, 浜林正夫, 平井俊彦, 鎌井敏和共著『ロック』2章)	清水書院	1968年3月
重商主義 (出口勇蔵編『経済学史入門』2章1節)	有斐閣	1969年10月
経済理論の生誕 (岩波講座『世界歴史』16巻「近代世界の形成Ⅲ」9の3)	岩波書店	1970年3月
ルカーチとアドルノ (行沢, 田中, 平井, 山口編『社会科学の方法と歴史』9章)	ミネルヴァ書房	1978年10月
ルカーチとホルクハイマー (河野健二編『ヨーロッパ1930年代』14章)	岩波書店	1980年8月
異文化間のコミュニケーションと『コミュニケーション的行為の理論』(河上, フーブリヒト編『法制化とコミュニケーションの行為』Vの3)	未来社	1987年9月

## 論 文

ヘーゲル市民社会思想の基本的構造	経済論叢	66巻4号	1950年10月
フォイエルバッハと市民革命(一)	経済論叢	69巻3・4号	1952年3月
〃 (二)	経済論叢	72巻4号	1953年10月

ルカーチにおける社会存在の論理(一)	経 済 論 叢	80巻1号	1957年7月
"                    (二)	経 済 論 叢	80巻3号	1957年9月
ジョン・ロックの市民社会像	京大経済学部創立40周年 記念論集		1959年5月
若きロックの自然法思想(一)	経 済 論 叢	85巻1号	1960年1月
"                    (二)	経 済 論 叢	85巻2号	1960年2月
シャフツベリの道德哲学(一)	経 済 論 叢	87巻1号	1961年1月
"                    (二)	経 済 論 叢	87巻2号	1961年2月
人間疎外の論理	経 済 論 叢	88巻2号	1961年8月
マンデヴィルの人間像	経 済 論 叢	89巻2号	1962年2月
「梯経済哲学」を生かすもの	立命館経済学	11巻5・6号	1963年2月
ジョン・ロックの重商主義と 経済循環理論(一)	経 済 論 叢	91巻2号	1963年2月
"                    (二)	経 済 論 叢	91巻4号	1963年4月
ロック経験哲学の構造(一)	経 済 論 叢	92巻3号	1963年9月
"                    (二)	経 済 論 叢	92巻5号	1963年11月
"                    (三)	経 済 論 叢	92巻6号	1963年12月
東欧における歴史意識	思 想	489号	1965年3月
ルカーチのローザ・ルクセンブルク論	甲南経済学論集	5巻6号	1965年3月
ロックの道德哲学と教育思想	経 済 論 叢	97巻1号	1966年1月
カール・コルシュの実践の弁証法	経 済 論 叢	98巻1号	1966年7月
ブハーリンとルカーチ	経 済 論 叢	99巻1号	1967年1月
ルカーチの物象化論(上)	思 想	527号	1968年5月
"                    (下)	思 想	530号	1968年8月
カール・コルシュのマルクス主義	理 想	451号	1970年12月
ルカーチ思想研究の動向	思 想	565号	1971年7月
ルカーチとハンガリア革命	季刊社会思想	1巻4号	1971年12月
ルカーチとハンガリア・ソヴェト 共和国	経 済 論 叢	109巻1号	1972年1月
ルカーチ「歴史と階級意識」の 現代的意義(上)	未 来	86号	1973年11月
"                    (下)	未 来	87号	1973年12月
カール・コルシュの唯物史観とレーテ 運動	思 想	616号	1975年10月
ルカーチと西欧マルクス主義	現 代 思 想	4巻13号	1976年12月
J. ハーバーマスにおける批判的社会理論 の倫理的基盤	経 済 論 叢	136巻4号	1985年10月

システム合理性とコミュニケーション共  
 同体—J. ハーバーマスの正統化理論  
 によせて 甲南経済学論集 27巻4号 1987年3月

## 英文論文

Shaftesbury's Moral Philosophy	The Kyoto University Economic Review	Vol. 32, No. 1 Apr. 1962
The Historical Consciousness of Georg Lukács	The Kyoto University Economic Review	Vol. 37, No. 1 Apr. 1967
N. Bukharin and G. Lukács	The Kyoto University Economic Review	Vol. 37, No. 2 Oct. 1967
Georg Lukács and the Hungarian Revolution of 1918-19	The Kyoto University Economic Review	Vol. 41, No. 2 Oct. 1971
The Ethical Base of J. Habermas' Critical Socialtheory	The Kyoto University Economic Review	Vol. 57, No. 1 Apr. 1987

## 事(辞)典

河野健二編『世界の名著』 トマス・モア, ホッブズ, ロック, ルカーチ	中央公論社	1963年6月
大阪市立大経済研究所編『経済学辞典』 ロック, ヒューム	岩波書店 (改訂版)	1965年9月 1979年6月
『現代教養百科事典』 理神論, ルカーチ, 修正社会主義, ベーベル, ベルンシュタイン, カウツキー, ゾンバルト	暁教育図書	1967年11月
社会科学大事典編集委員会編『社会科学大事典』 全20巻 アイゼナハ派, 快樂主義, 革命的民主主義, 客観 主義, 感覚論, ターナー, ゲレス, コシュート, コルシュ, 社会改良主義, シャップベリ, 主知主 義, 進歩史観, 道徳感情学派, フォイエルバハ, ブルクハルト, プロレタリアート, ベシミズム, マンデヴィル, メーリング, 予定調和, ラサール, ルカーチ	鹿島出版会	1968年3月 より
『経済学大辞典』3巻 啓蒙思想	東洋経済新報社	1980年9月
岡崎次郎編『現代マルクス・レーニン主義事典』 アドルノ, 階級, 階級意識, ハーバーマス, フダ ベスト学派, ホルクハイマー, マンデヴィル, ルカーチ	社会思想社	1980年11月

## 邦 訳

ドップ『資本主義発展の研究』II, 京大近代史研 究会訳 第6章プロレタリアートの成立	岩波書店	1955年4月
---	------	---------

ルカーチ『階級意識論』(社会科学ゼミナール, 3)	未 来 社	1955年11月
ルカーチ『若きマルクス』	ミネルヴァ書房	1958年7月
『マルクスニエンゲルス全集』1巻 木材窃盗取締法にかんする討論(細見英との共訳)	大 月 書 店	1959年10月
『マルクスニエンゲルス全集』5巻 ドイツの対外政策, ドイツの対外政策とブラハにおける最近の事件, 「フェドレラント」紙のデンマークとの休戦協定論, デンマークとの休戦協定, 「ケルン新聞」のイギリスの状態論, デンマークとの休戦協定, デンマークニプロイセンの休戦協定, 休戦協定の批准	大 月 書 店	1960年12月
『マルクスニエンゲルス全集』6巻 エルバーフェルト, ハンガリー, プファルツとバーデンの革命的蜂起	大 月 書 店	1961年4月
ルカーチ『歴史と階級意識』	未 来 社	1962年8月
ルカーチ『ローザとマルクス主義』	ミネルヴァ書房	1965年5月
メーリング『ドイツ社会民主主義史』(上) (足利末男・野村修・林功三との共訳)	ミネルヴァ書房	1968年6月
〃 (下)	ミネルヴァ書房	1969年10月
フェッチャー『階級的白覚の論理』	人 文 書 院	1971年1月
バーキンソン編『ルカーチの思想と行動』(監修訳)	ミネルヴァ書房	1971年12月
コルシュ『マルクス主義と哲学』(岡崎幹郎との共訳)	未 来 社	1977年2月
テーケイ「ルカーチとハンガリー文化」(『現代思想』5巻2号)	青 土 社	1977年2月
ルカーチ「芸術と社会」序文(『未来』129号, 130号)	未 来 社	1977年6・7月
ハーバーマス「西欧工業社会における社会国家的妥協のモデル」(『思想』696号)	岩 波 書 店	1982年6月
ヴェーラー編『ドイツの歴史家』2巻 グレービングニクラマ, フランツ・メーリング	未 来 社	1983年4月
ハーバーマス「合理性理論へのアプローチ」(上) (下) (『未来』216号, 217号)	未 来 社	1984年9・10月
ハーバーマス『コミュニケーション的行為の理論』 (上) (河上倫逸, フーブリヒトとの分担訳)	未 来 社	1985年10月

## 書 評

ルカーチ『若きマルクスの哲学的発展について 1840—44』	経 済 論 叢	77巻5号	1956年5月
ルフェーブル『カール・マルクス』 (吉田訳) ミネルヴァ書房	京都大学新聞		1960年8月22日
バッケンハイム『近代人の疎外』(栗田 訳) 岩波新書	京都大学新聞		1960年9月12日



務合理作『現代のヒューマニズム』岩波新書	京都大学新聞	1961年8月6日
マルクーゼ『理性と革命』(榊田他訳) 岩波書店	京都大学新聞	1961年10月30日
マルクス『経済学ノート』(杉原・重田訳) 未来社	関大経済論集 12巻5・6号	1963年2月
〃	京都大学新聞	1963年3月4日
マクファーンソン『所有的個人主義の政治論』	経済論叢 94巻3号	1964年9月
ダーレンドルフ『産業社会における階級と階級闘争』(富永訳)ダイヤモンド社	京都大学新聞	1964年9月28日
テ・イ・オイゼルマン『マルクス哲学の形成』(森訳)勁草書房	一橋新聞	1964年10月15日
良知力『ドイツ社会思想史研究』未来社	経済学史学会年報 4号	1966年11月
フィッシャー『若き世代の問題』(佐々木、好村訳)合同出版	京大生協「協同」1号	1966年12月
内田義彦『資本論の世界』岩波新書	読書新聞	1967年2月6日
梯明秀『社会科学の学問的構造』雄渾社	法政大学新聞	1967年4月25日
梅本克巳『唯物史観と現代』岩波新書	京都大学新聞	1967年10月16日
フロム編『社会主義とヒューマニズム』(城塚他訳)紀ノ国屋書店	京大生協「協同」3号	1967年11月
ホルツ、コフラー、アーベントロート『ルカーチとの対話』(池田訳)合同出版	京都大学新聞	1968年3月11日
ローゼンベルク『近代政治史』(足利訳)みすず書房	中国新聞	1968年8月13日
徳永恂『社会哲学の復権』せりか書房	大阪大学新聞	1969年1月11日
経済学史学会編『資本論の形成』の二つの論文	経済論叢 103巻4号	1969年4月
コート『ヨーロッパの左翼』(河合訳)平凡社	東京新聞	1970年8月10日
ペトロヴィッチ『マルクスと現代』(岩淵訳)紀ノ国屋書店	エコノミスト	1970年12月1日
良知力『マルクスと批判者群像』平凡社	週間読書人	1972年1月31日
クレア、ハワード編『レーニン以後のヨーロッパ・マルクス主義』(B)評論社	エコノミスト	1973年8月21日
リヒトハイム『ルカーチ』(古賀訳)新潮社	読書新聞	1973年10月1日
徳永恂『ユートピアの論理』河出書房	エコノミスト	1974年10月22日
山口和男『ドイツ社会思想史研究』ミネルヴァ書房	甲南経済学論集 16巻3号	1976年1月

リッカート『歴史哲学序説』(佐伯訳) ミネルヴァ書房	ミネルヴァ通信 98号	1976年4月
木崎喜代治『フランス政治経済学の生成』 未来社	社会思想史学会年報 1号	1977年11月
アドルノ、ポパー他『社会科学の論理』 (城塚、浜井訳)河出書房	週刊ポスト	1979年10月26日
ピーター・ゲイ『ペルシユタイン』 (長尾訳)木鐸社	エコノミスト	1981年1月27日
ウォーラスティン『史的システムとしての 資本主義』(川北訳)岩波書店	京都大学新聞	1985年4月1日
成瀬治『近代市民社会の成立』東大出版 会	史学雑誌 94巻7号	1985年7月
リオータル『ポスト・モダンの条件』 風のバラ社	京都大学新聞	1986年11月16日

### 解題・エッセイ・アンケート(等)

歴史と階級意識	神戸大学新聞	1957年10月28日
マックス・ウェーバーと現代経済	経済セミナー 94号	1964年4月
暗き青春の谷間で	甲友 11号	1965年11月
現代における初期マルクス研究の意味 (京大法学部, 社会科学研究会連合会 創立記念号)	学生社会科学研究	1966年5月7日
マックス・ウェーバー 社会科学方法論	経済学史学会年報 4号	1966年11月
わたしの資本論	京都大学新聞	1967年6月19日
人間疎外思想の復権	法政大学新聞	1967年11月25日
京都大学経済学部50年略史(3節I項)	京大経済学部	1970年9月
G. ルカーチの死を悼んで	京都大学新聞	1971年6月28日
ルカーチ・その人と業績(東西知識人の 課題)	エコノミスト	1971年6月29日
わたしの古典, ルカーチ『歴史と階級意 識』	未 来 61号	1971年10月
ルカーチは生きているか	季刊社会思想 2巻2号	1972年6月
アドルノ以後のフランクフルト学派	季刊社会思想 3巻2号	1973年6月
日本人とドイツ人	如意 5号	1973年8月
現代ヨーロッパにおけるルカーチとフ ランクフルト学派	経済学史学会年報 11号	1973年11月
みすず読書アンケート(1974年1月より 毎年)	みすず	1974年1月
経済都市の光と影(西ドイツ)	朝日ジャーナル 16巻18号	1974年5月

1冊の本、『歴史と階級意識』	経済セミナー 234号	1974年8月
エンゲルスの未公開書簡	経済論叢 117巻4号	1976年4月
経済学部の「上野文庫」	京大広報 135号	1977年2月
労働観の変遷と労働の弁証法	看護展望	1977年8月
『社会思想史研究』創刊号一発刊によせて	読書新聞	1978年1月1日
『上野文庫目録』新聞部門(3)まえがき	第2期上野文庫目録	1978年1月
二度目の目録公刊—上野文庫	朝日新聞	1978年6月27日
ホブズとロック(「世界の名著」しおり)	中央公論社	1979年9月
読・書・考	静 修 18巻1号	1981年5月
ハーバース教授の講演会	経済論叢 128巻5・6号	1981年11・12月
『河上肇全集』13巻, 解題・校訂	岩波書店	1982年3月
『河上肇全集』12巻, 解題・校訂	岩波書店	1982年8月
M. リーデル教授の講演会, 中国・社会主義史研究者との討論・交流会	経済論叢 130巻3・4号	1982年9・10月
知的革新のジレンマ(複眼時評)	京都大学新聞	1983年1月16日
マルクス像の可能性と現実性	書齋の窓	1983年5月
『河上肇全集』14巻, 解題・校訂	岩波書店	1983年7月
ゴールドスミス・コクレス文庫—経済関係, 初期文献集	静 修 20巻1号	1983年10月
カール・マルクス没後百年記念行事	経済論叢 132巻5・6号	1983年11・12月
「思想」の言葉	思想 732号	1985年6月
欲求に対する独裁(複眼時評)	京都大学新聞	1985年7月16日
経済学古典文献展示会	経済論叢 137巻2号	1986年2月
経済学部の貴重書文庫	京大広報 310号	1986年4月
梯経済哲学と批判的社会理論(『梯明秀経済哲学著作集』第4巻, 月報)	未来社	1986年7月
上野文庫(中)	同 朋 108・109号	1987年4・5月
山口和男氏を悼んで	REMINISZENZEN	1987年4月
ゼミの思想史	ゼミ会誌 1号	1988年6月
啓蒙のパラドックス	自修会会報	1988年7月
上野文庫	静 修 25巻2号	1988年9月
ホネット・シンポジウム「権力と批判理論」の討論	歴史と社会 8号	1988年9月